

7. 都市構造評価

「都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課）」に基づき、本市の都市構造を客観的かつ定量的に分析し、全国の都市の評価指標値と比較することで、本市の都市構造の特徴を2010年（平成22年）と2040年で整理します。

なお、人口分析においては、現状については、2015年（平成27年度）の基礎調査業務委託成果資料より2010年（平成22年）の国勢調査の結果（総人口84,846人）を基に作成したものを使用し、将来見通し2040年については、国立社会保障・人口問題研究所の推計値（総人口81,491人）を基に作成しています。また、医療施設、高齢者福祉施設、商業施設、保育所等の子育て施設の施設配置については、2010年（平成22年）・2040年ともにP16～P19のデータを使用しています。

7-1. 都市構造評価の目的

都市構造評価は、都市全体で人口分布、高齢化の推移など、人口の現状と将来見通しについて分析したうえで、人口分析結果と都市機能の分布状況・公共交通路線網等を重ね合わせ、コンパクトな都市構造の構築に向けて課題を明確にするため実施するものです。

都市構造評価とは、

都市構造の現状の健康診断として、

- 現況の都市構造にかかる評価結果について、類似規模都市平均値との比較や他分野の評価結果の相互比較等を行うことにより、どのような分野において課題があるのか客観的、定量的に把握することが可能です。

コンパクトさを示す指標として、

- 評価指標は、都市構造のコンパクトさと関連性を有する項目を中心に設定されていることから、当該指標に着目し、この数値を改善する施策を講じることにより、市民生活や都市・経済活動の改善にも寄与する形で、コンパクトなまちづくりを効率的に進めることが可能となります。

※都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課）より

7-2. 都市構造評価の指標

都市の現状をもとに、以下の項目で都市構造を評価します。

評価分野・評価軸		評価指標
生活利便性 (都市機能や居住機能を適切に誘導することにより、歩いて行ける範囲に、日常生活に必要な、医療、福祉、商業などの都市機能と公共交通機能が充足した街を実現すること)	都市機能の適正配置	生活サービス施設の利用圏平均人口密度※1 (医療施設、高齢者福祉施設、商業施設※2)
	適切な都市機能の誘導	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率※3 (医療施設、高齢者福祉施設、商業施設)
		日常生活サービスの徒歩圏充足率※4
		基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率※5
健康・福祉 (市民の多くが歩いて回遊する環境を形成することにより、市民が健康に暮らすことのできる街を実現すること)	都市生活の利便性の向上	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率※6 保育所の徒歩圏0~5歳人口カバー率※7
	歩きやすい環境の形成	公園緑地の徒歩圏人口カバー率※8

※1：各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度

※2：医療施設は病院または診療所（内科、外科）、高齢者福祉施設は地域包括支援センターや通所系・訪問系・小規模多機能型居宅介護施設等、商業施設はスーパーマーケット等

※3：各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

※4：医療施設、高齢者福祉施設、商業施設の徒歩圏800mすべてが重複する区域と基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の鉄道路線及びバス路線）の徒歩圏（鉄道駅からは800m、バス停からは300m）の区域が重複するエリアに居住する人口の総人口に占める比率

※5：基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の路線）の鉄道駅から800m、バス停の徒歩圏300mに居住する人口の総人口に占める比率

※6：高齢者福祉施設の半径1km圏域に居住する65歳以上人口の65歳以上総人口に占める比率

※7：保育所の半径800m圏域に居住する0~5歳人口の0~5歳総人口に占める比率（「幼稚園」は、「保育所」の役割を担っているため都市構造評価上の対象施設に含む）

※8：都市公園の半径500m圏域に居住する人口の総人口に占める比率

資料：都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課）

【都市構造評価の各評価軸の目的】 ※都市構造の評価に関するハンドブック 国土交通省都市局都市計画課より

※都市機能の適正配置：生活の拠点など適切な区域に立地、集積していることを評価（市内の生活サービス施設の徒歩圏内の平均人口密度を把握し、生活サービス水準が維持できるような位置に立地していることについて整理。）

※適切な都市機能の誘導：都市機能誘導区域など生活利便性の高い区域及びその周辺に居住が誘導され、徒歩圏で必要な生活機能等を楽しむことができることを評価（総人口に対して市内の生活サービス施設の徒歩圏内、基幹的公共交通の徒歩圏内のカバー割合を把握し、徒歩による生活サービスが享受できる人口割合を整理。）

※都市生活の利便性の向上：生活サービス施設が徒歩圏域で充足していることを評価（各施設で利用が想定される年齢層の人口に対して市内の生活サービス施設の徒歩圏内のカバー割合を把握し、徒歩による生活サービスが享受できる人口割合を整理。）

※歩きやすい環境の形成：公園緑地が住まいの近くに配置されるなど歩きやすい環境が整備されていることを評価（総人口に対して公園緑地を利用できる徒歩圏内のカバー割合を把握し、身近で公園緑地が利用できる人口割合を整理。）

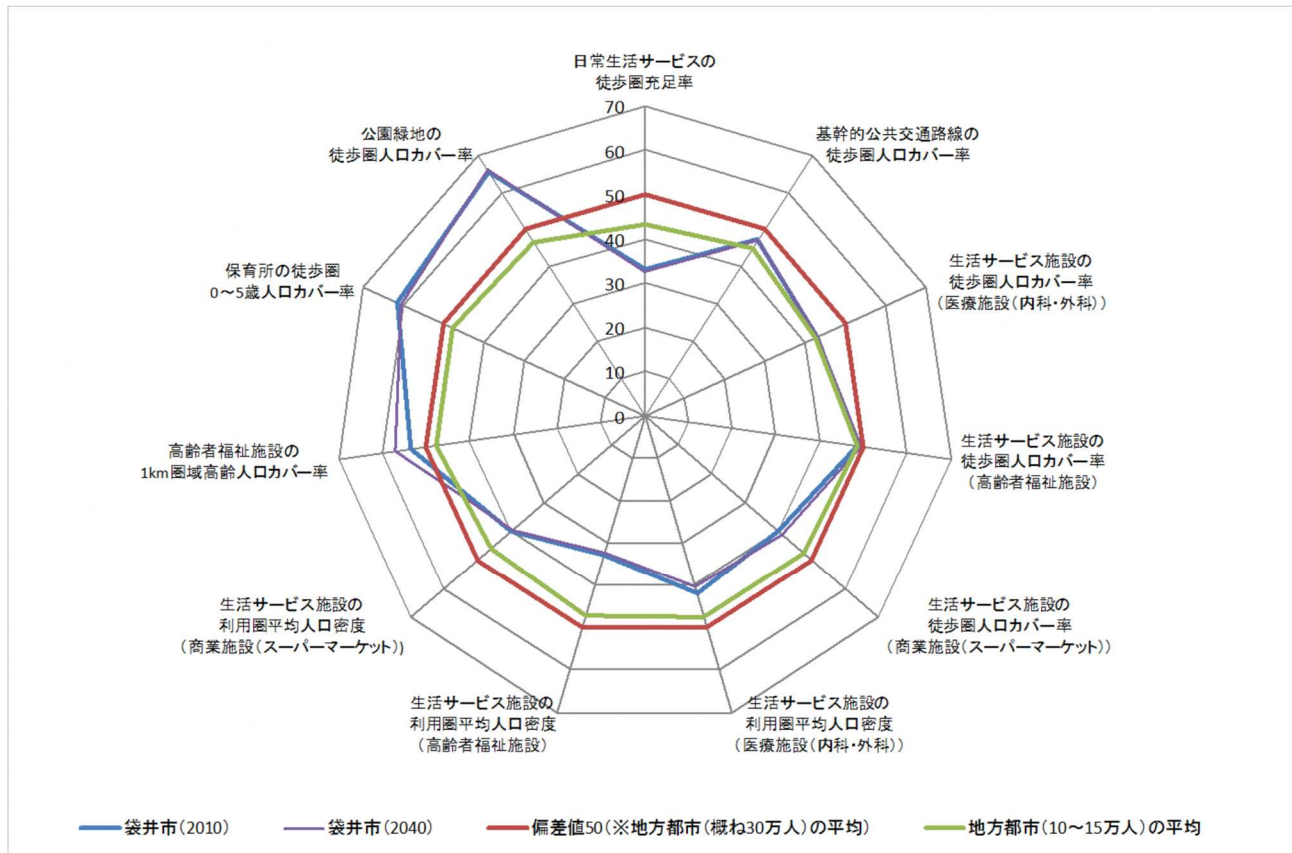
7-3. 都市構造評価の結果

本市の都市構造評価の結果と都市規模別平均値については、次のとおりとなります。また、本市の2010年（平成22年）の都市構造を、地方都市（概ね30万人）を基準としたレーダーチャートで示しました。

■都市構造評価の結果

評価軸	評価指標	単位	都市規模別平均値			袋井市 2010年 (H22年)	袋井市 2040年	
			全国	地方都市 (概ね30万人)	地方都市 (10~15万人)			
生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	43	30	26%	20%	20%	
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	55	40	36%	38%	38%	
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療施設(内科・外科)	%	85	76	72%	65%	65%
		高齢者福祉施設	%	79	73	71%	71%	72%
		商業施設(スーパーマーケット等)	%	75	65	62%	52%	53%
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度	医療施設(内科・外科)	人/ha	39	20	19	17	16
		高齢者福祉施設	人/ha	38	19	18	12	12
商業施設(スーパーマーケット等)		人/ha	42	24	22	19	19	
健康・福祉	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	72	67	64%	72%	77%	
	保育所の徒歩圏0~5歳人口カバー率	%	74	66	63%	81%	80%	
	公園緑地の徒歩圏人口カバー率	%	83	71	66%	93%	94%	

※算定式については、P30~P45 下段に示しています。評価値については、小数点以下を四捨五入しています。



■日常生活サービスの徒歩圏充足率

2010年（平成22年）時点の日常生活サービスの徒歩圏充足率は20%であり、地方都市（10～15万）では26%、地方都市（概ね30万）では30%、全国平均が43%であることから低い水準となっています。JR 袋井駅南側、JR 愛野駅周辺、浅羽支所周辺、月見の里学遊館周辺において、医療・福祉・商業施設等の都市機能のいずれかが立地していないため、徒歩圏域に含まれておらず充足率が低い状況にあります。

■基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率

2010年（平成22年）時点の基幹的公共交通路線（日当り30本以上運行する鉄道及びバス路線）の徒歩圏は、JR 袋井駅周辺およびJR 愛野駅周辺、南北に延びるバス路線沿線であり、人口密度が60人/ha以上の高いエリアの多くをカバーしています。

基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率は38%であり、地方都市（10～15万）36%と比較して少し高い水準となっています。

■生活サービス施設（医療施設）の徒歩圏人口カバー率と利用圏平均人口密度

2010年（平成22年）時点の医療施設の徒歩圏人口カバー率は65%と、地方都市（10～15万人）72%よりも低く、地方都市（10～15万）と比較し医療施設の利用圏域外に人口が分布している状況です。特に、JR 愛野駅周辺については医療施設（内科、外科）の立地が見られず、今後、JR 愛野駅周辺に医療施設が立地した場合には、地方都市（10～15万）の平均と同等の水準となることが想定されます。

医療施設利用圏の平均人口密度は17人/haと、地方都市（10～15万人）の19人/haよりも低くなっています。2040年時点では、徒歩圏人口カバー率は維持するものの、将来的に人口減少が見込まれ、医療施設の徒歩圏域内に人口が減少することが見込まれています。

■生活サービス施設（高齢者福祉施設）の徒歩圏人口カバー率と利用圏平均人口密度

2010年（平成22年）時点の高齢者福祉施設の徒歩圏人口カバー率は71%と、地方都市（10～15万人）の同等水準を確保しています。一方で高齢者福祉施設利用圏の平均人口密度は12人/haと、地方都市（10～15万人）の18人/haよりも低くなっています。2040年時点では、徒歩圏人口カバー率が微増しており、将来的に人口減少が見込まれているものの、高齢者施設の徒歩圏域内に人口が集積することが見込まれています。

ただし、地域拠点となる上山梨地区（月見の里学遊館）周辺については高齢者福祉施設（通所系、訪問系など）の立地がなく、高齢化が進む上では拠点機能として確保する必要があります。

■生活サービス施設（商業施設）の徒歩圏人口カバー率と利用圏平均人口密度

2010年（平成22年）時点の商業施設の徒歩圏人口カバー率は52%と、地方都市（10～15万人）の62%よりも低い水準となっており、概ね用途地域内とその周辺部が徒歩圏域となっており、人口密度が高い可睡の杜地区周辺も含め、住宅地や集落地の大部分が徒歩圏外となっています。特に、JR 袋井駅南側、浅羽支所周辺については商業施設の立地がなく、今後、JR 袋井駅南側、浅羽支所

周辺に商業施設（スーパーマーケット等）が立地した場合には、他市町の平均と同等の水準となることが想定されます。また、商業施設利用圏の平均人口密度は 19 人/ha と、地方都市（10～15 万人）の 22 人/ha よりも低くなっています。

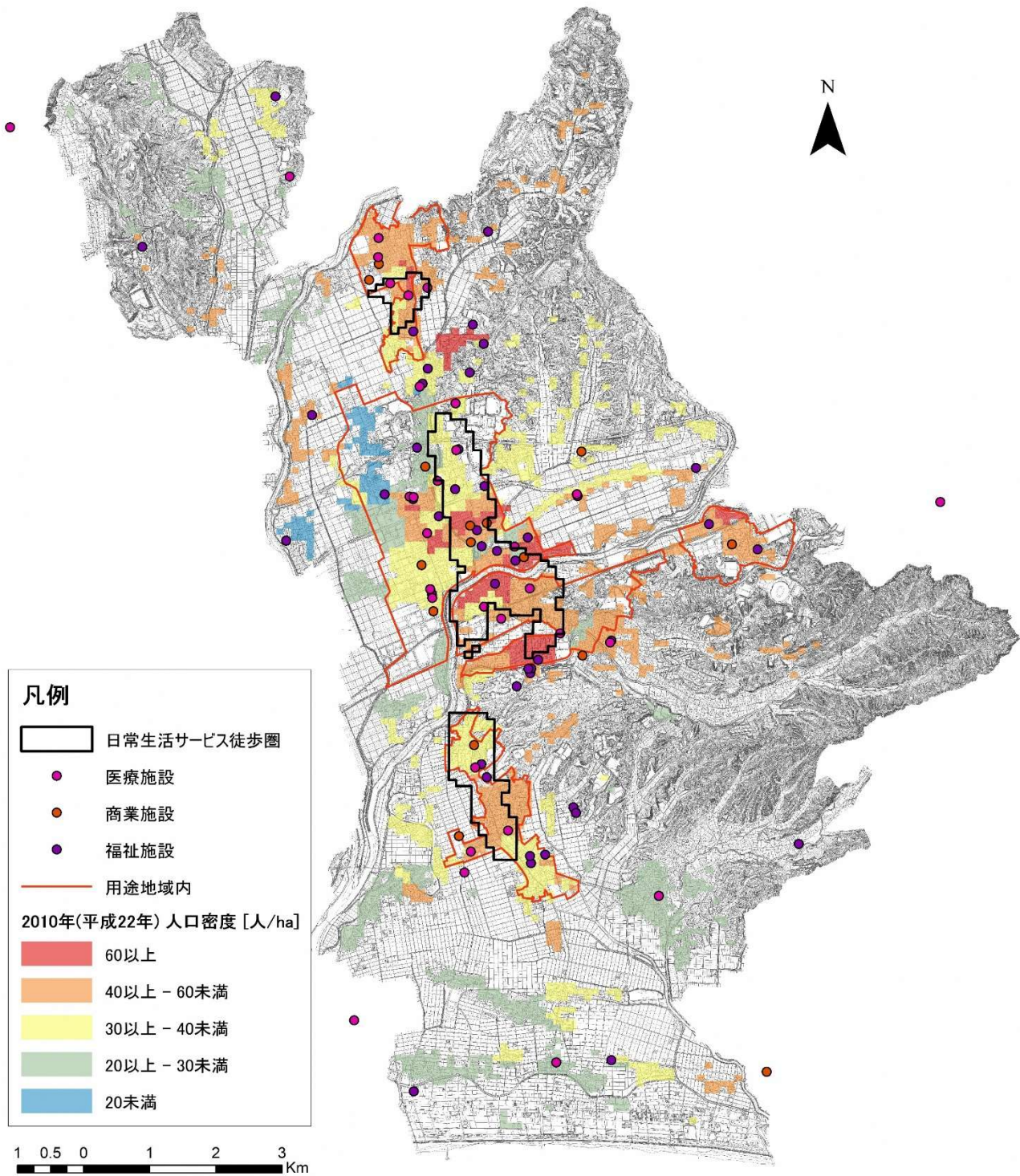
2040 年時点では、徒歩圏人口カバー率が微増しており、将来的に人口減少が見込まれているものの、商業施設の徒歩圏域内に人口が集積することが見込まれています。

■保育所の徒歩圏 0～5 歳人口カバー率

2010 年（平成 22 年）時点の保育所（幼稚園等を含む）の 0～5 歳人口カバー率は 81% で、地方都市（10～15 万）の 63% と比較して高い水準にあります。本市における保育所の徒歩圏は、市街地や集落地の大部分をカバーしている状況です。

2040 年時点では、徒歩圏 0～5 歳人口カバー率は減少しているものの、地方都市（10～15 万）と比較しても高いサービス水準を確保しています。

■日常生活サービスの徒歩圏（2010年（平成22年））



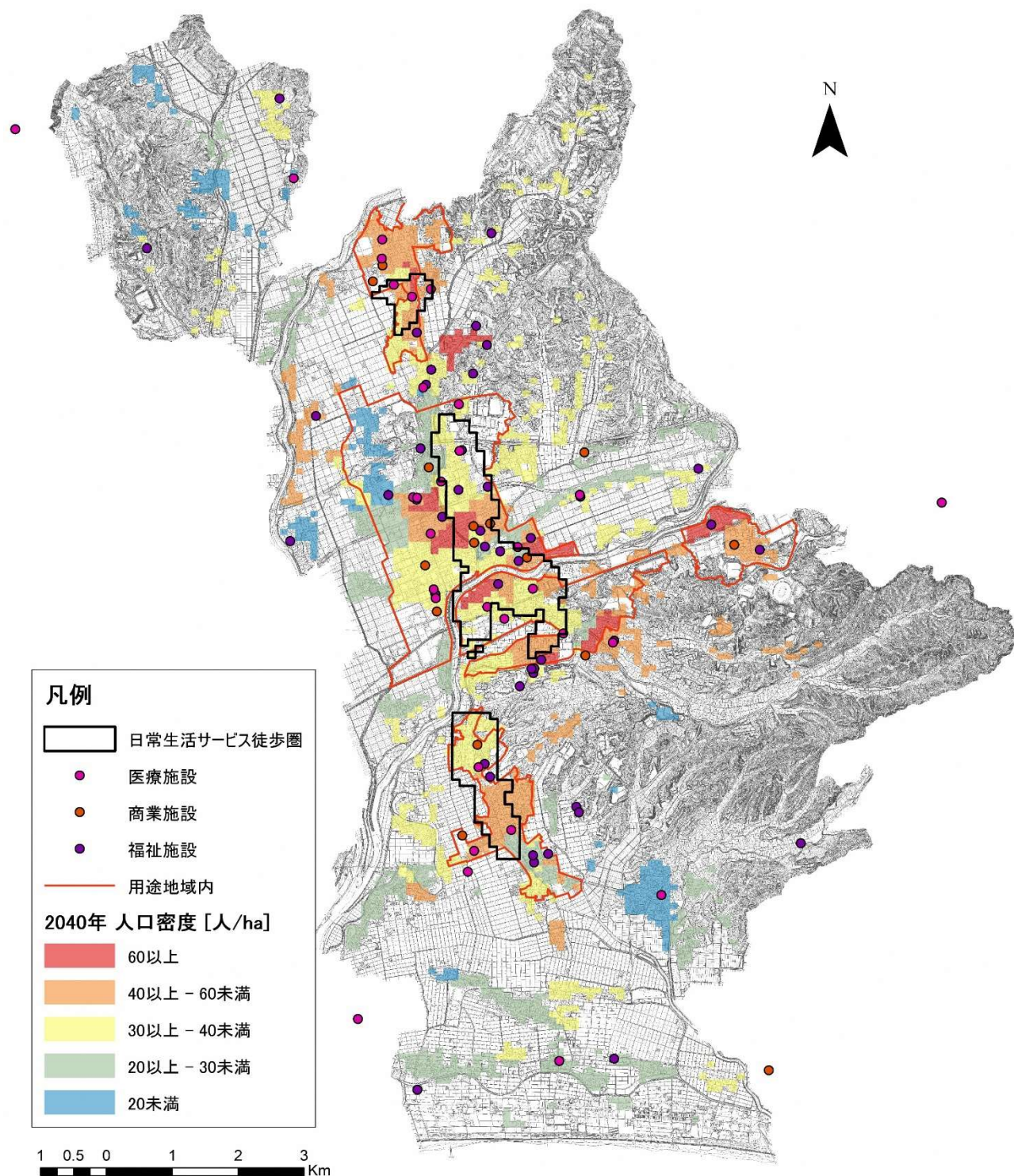
資料：国土数値情報等

【日常生活サービス徒歩圏充足率※1の算出】

日常生活サービス徒歩圏内人口（16,893人）÷総人口（84,846人）＝20%

※1：医療施設、福祉施設、商業施設の徒歩圏800mすべてが重複する区域と基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の鉄道路線及びバス路線）の徒歩圏（鉄道駅からは800m、バス停からは300m）の区域が重複する区域に居住する人口の総人口に占める比率

■日常生活サービスの徒歩圏（2040年）



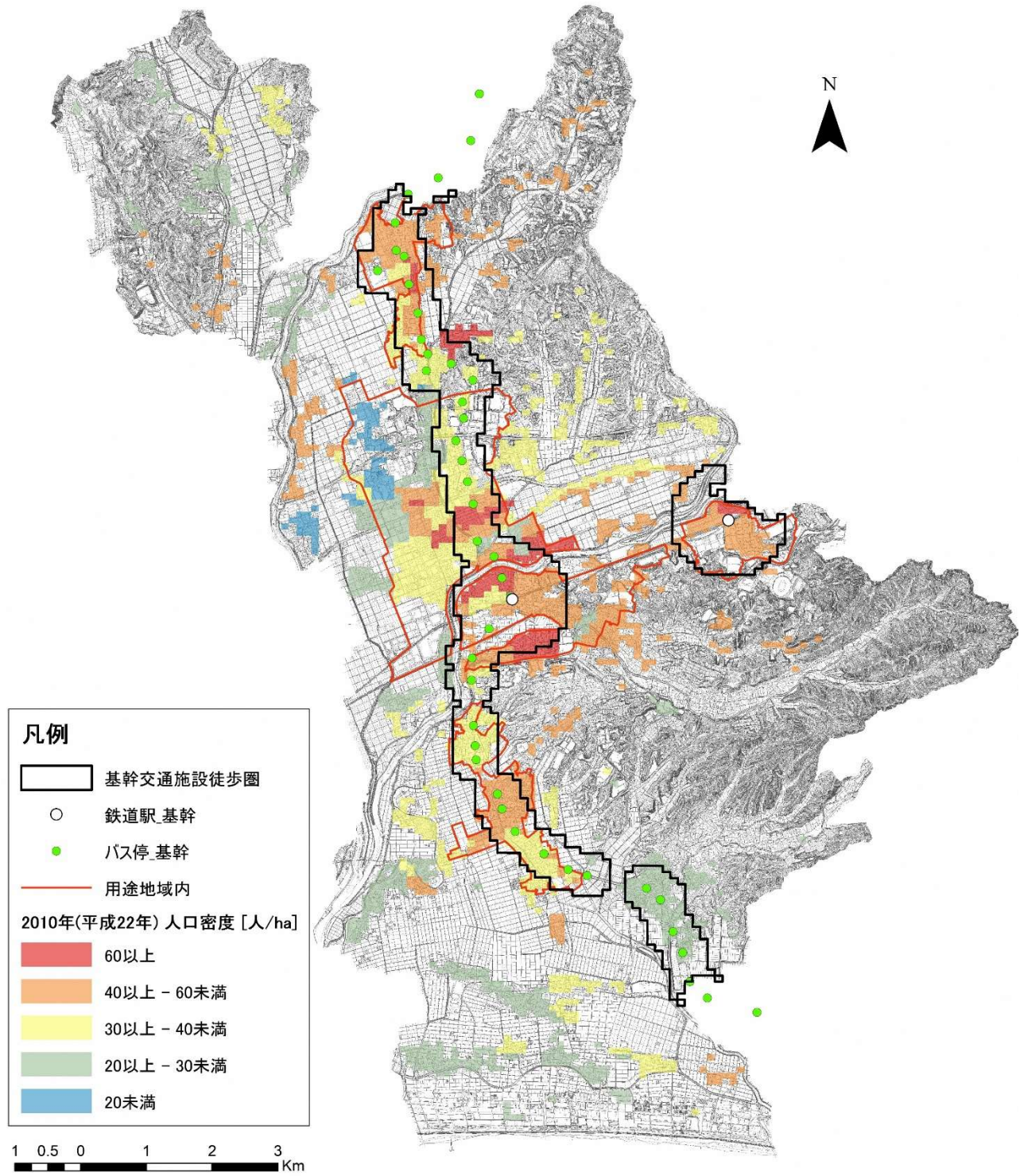
資料：国土数値情報等

【日常生活サービス徒歩圏充足率※1の算出】

日常生活サービス徒歩圏内人口（15,921人）÷総人口（81,491人）＝ 20%

※1：医療施設、福祉施設、商業施設の徒歩圏 800mすべてが重複する区域と基幹的公共交通路線（日当たり 30 本以上の鉄道路線及びバス路線）の徒歩圏（鉄道駅からは 800m、バス停からは 300m）の区域が重複する区域に居住する人口の総人口に占める比率

■基幹的公共交通の徒歩圏（2010年（平成22年））



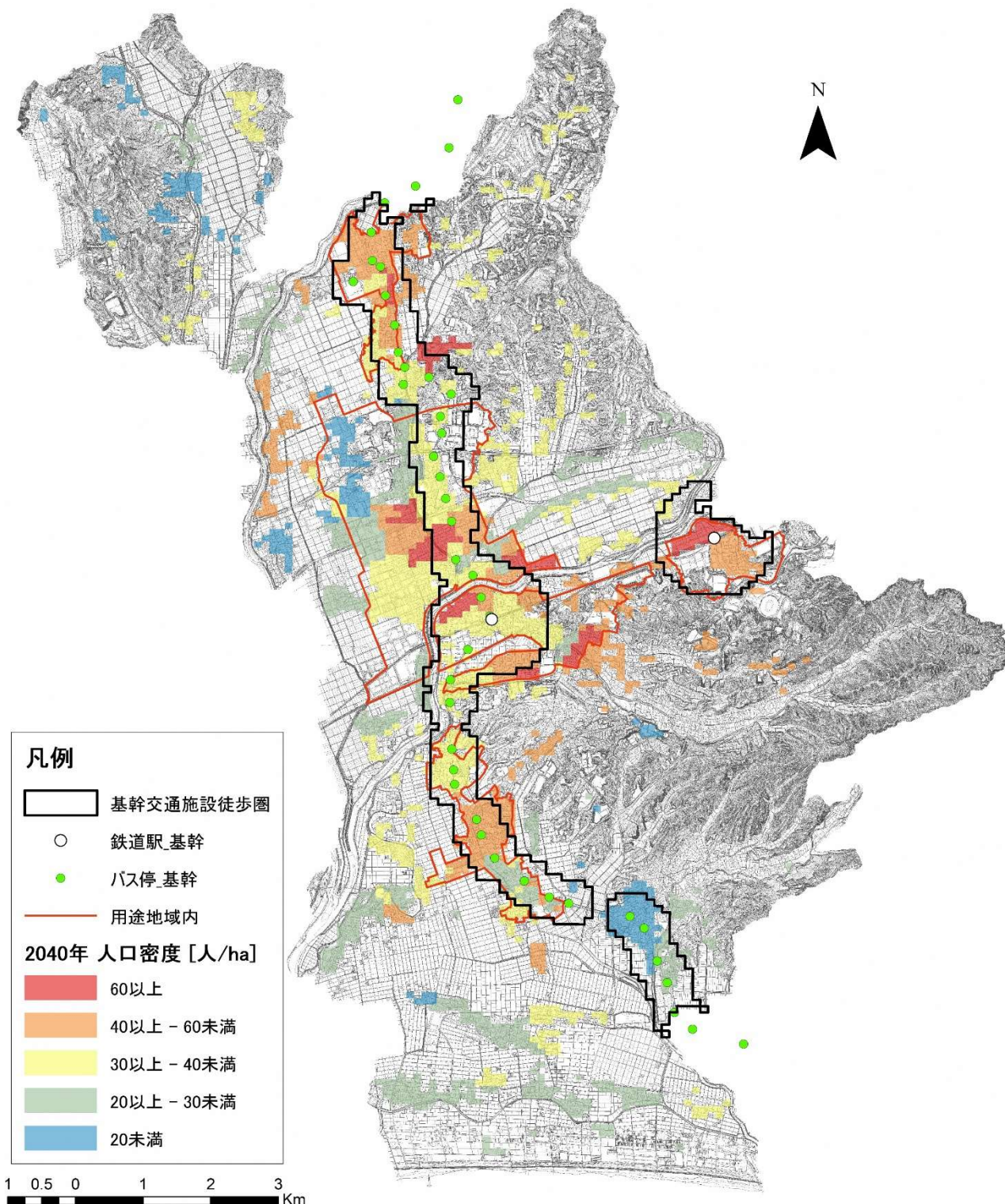
資料：国土数値情報 鉄道(平成23～26年度)・バスルート(平成23年度)・バス停留所 (平成22年度)

【基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

基幹的公共交通徒歩圏内人口 (32,112人) ÷ 総人口 (84,846人) = 38%

※1：基幹的公共交通路線（日当たり 30 本以上の路線）の鉄道駅から 800m、バス停の徒歩圏 300mに居住する人口の総人口に占める比率

■基幹的公共交通の徒歩圏（2040年）



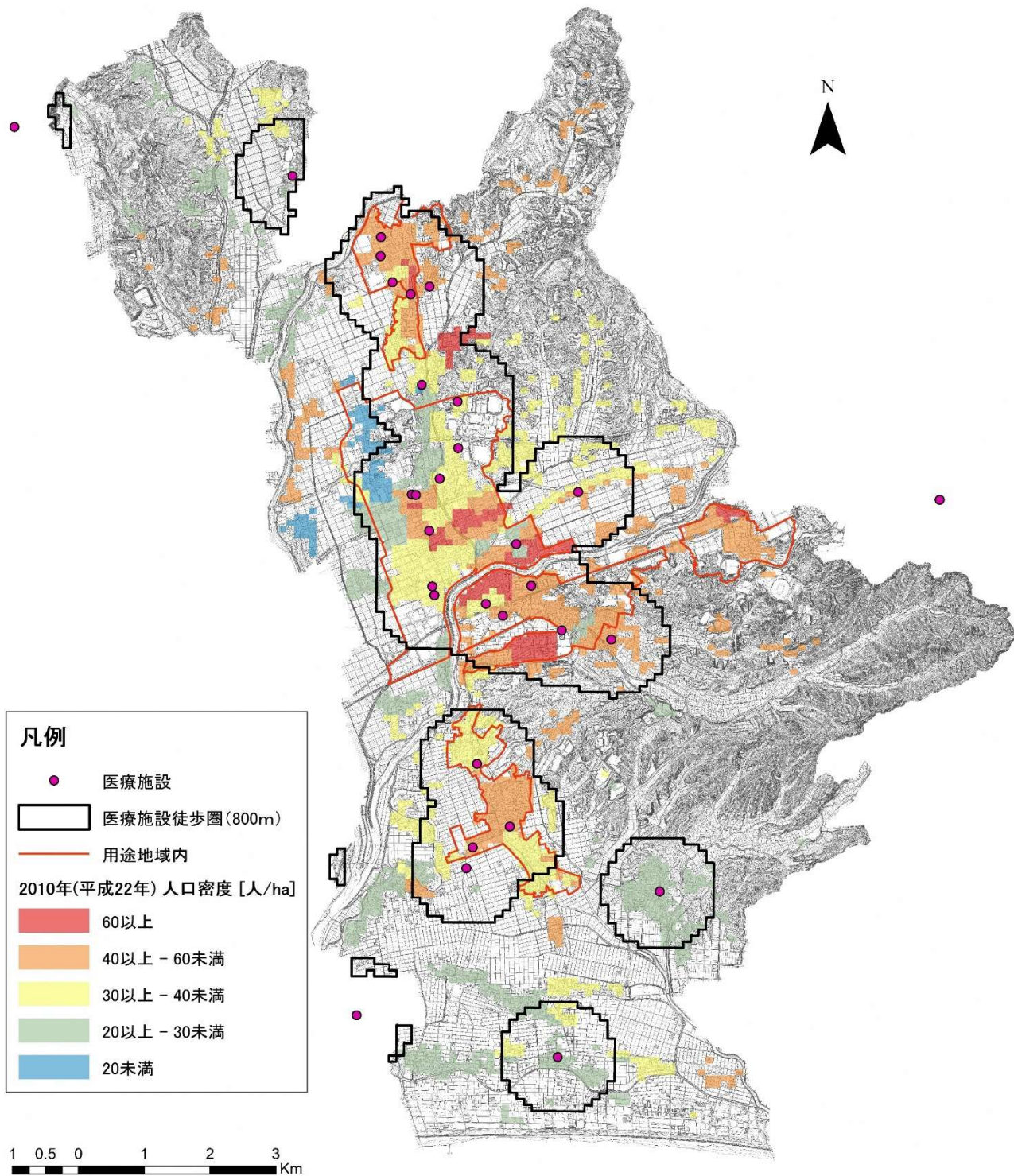
資料：国土数値情報 鉄道(平成23～26年度)・バスルート(平成23年度)・バス停留所(平成22年度)

【基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

基幹的公共交通徒歩圏内人口 (30,844人) ÷ 総人口 (81,491人) = 38%

※1：基幹的公共交通路線（日当たり 30 本以上の路線）の鉄道駅から 800m、バス停の徒歩圏 300mに居住する人口の総人口に占める比率

■医療施設（内科、外科）の徒歩圏（2010年（平成22年））



資料：袋井市公共施設白書、袋井市医療施設ガイドブック（2017年（平成29年）4月）

【医療施設の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

医療施設の徒歩圏内人口 (55,100人) ÷ 総人口 (84,846人) = 65%

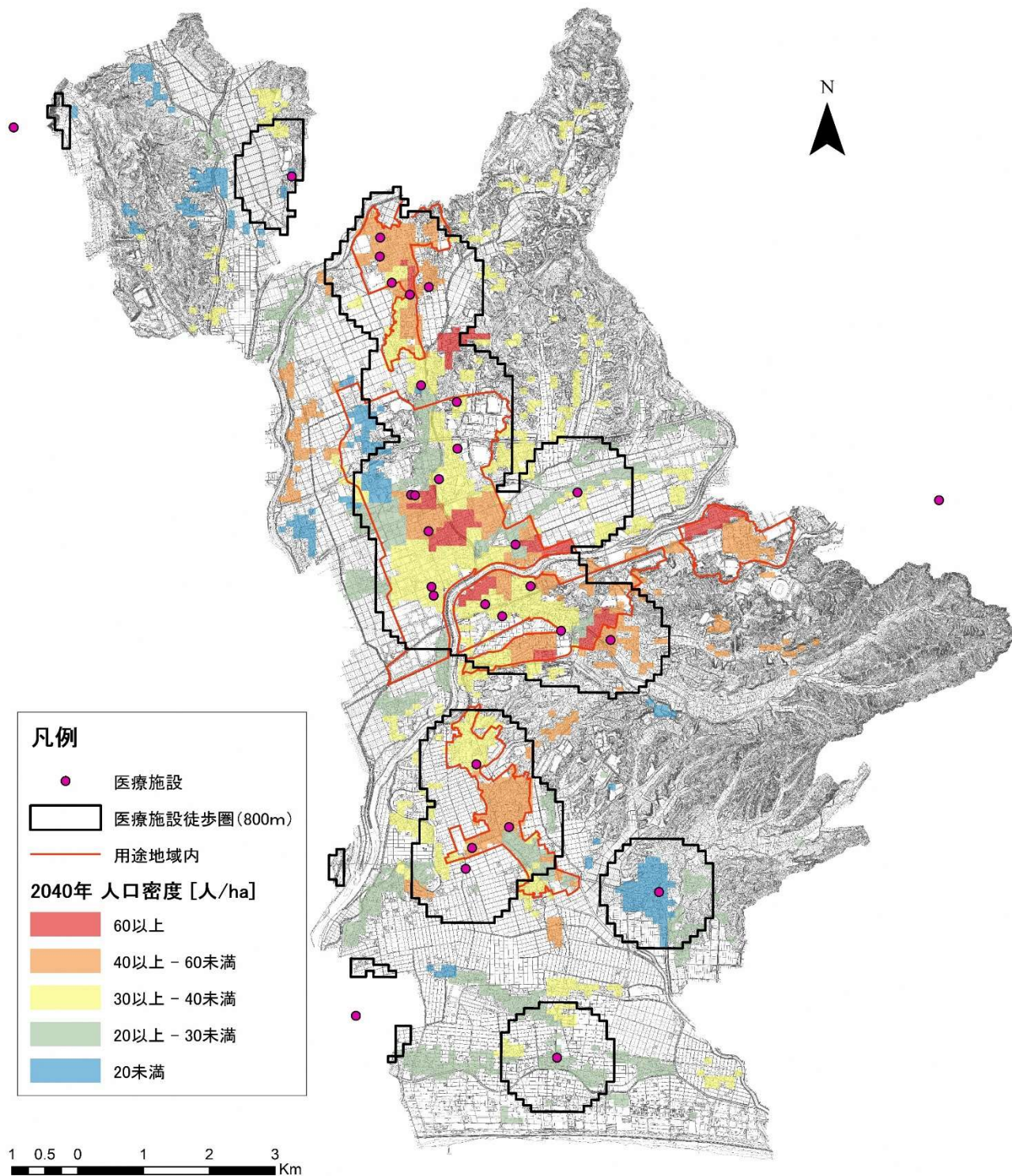
【医療施設の徒歩圏の人口密度※2の算出】

医療施設徒歩圏内人口 (55,100人) ÷ 医療施設徒歩圏面積 (3,280ha) = 17人/ha

※1：各施設の徒歩圏 800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

※2：各施設の徒歩圏 800mの区域内における平均人口密度

■医療施設（内科、外科）の徒歩圏（2040年）



資料：袋井市公共施設白書、袋井市医療施設ガイドブック（2017年（平成29年）4月）

【医療施設の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

医療施設の徒歩圏内人口（53,166人）÷ 総人口（81,491人） = **65%**

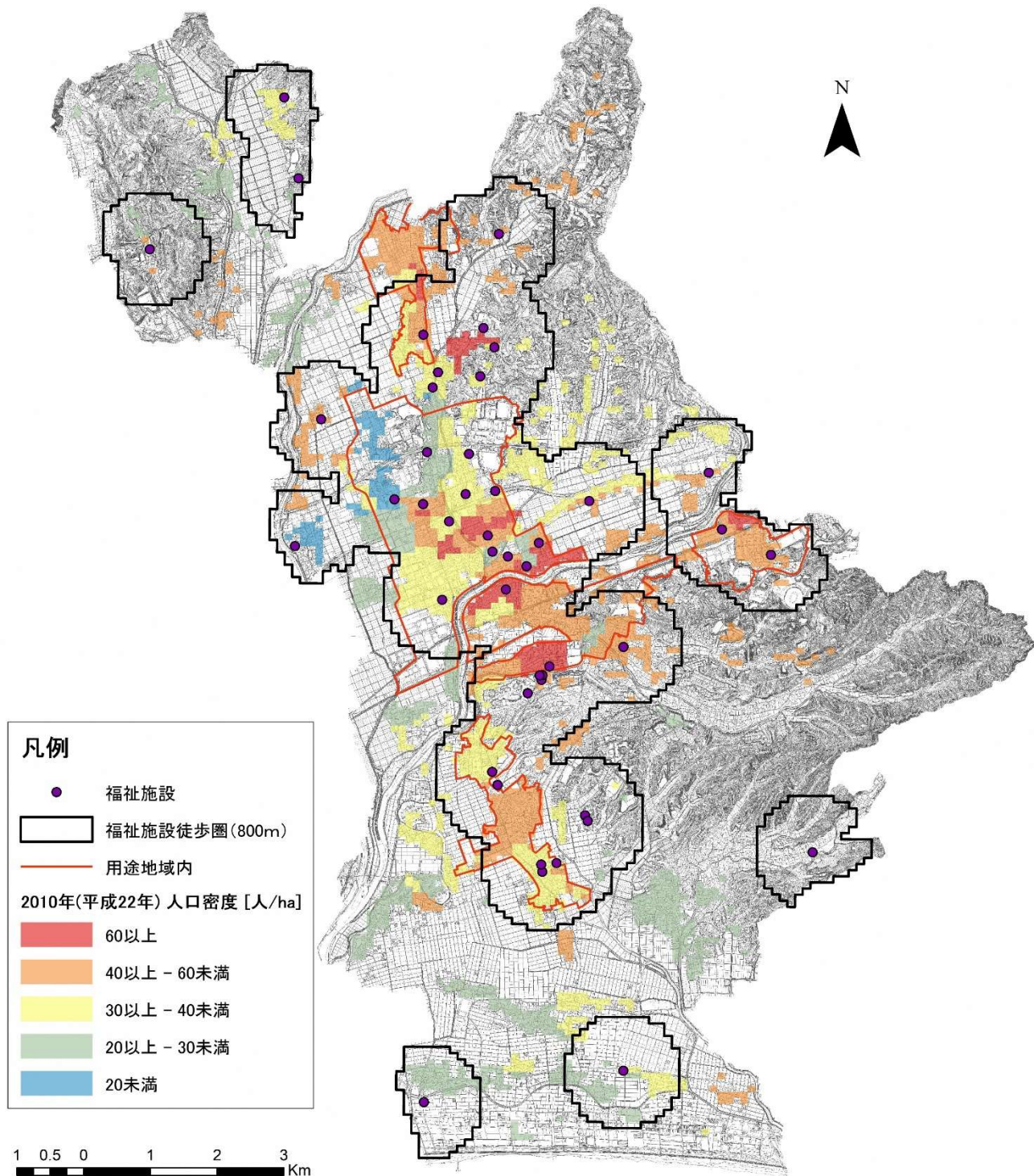
【医療施設の徒歩圏の人口密度※2の算出】

医療施設徒歩圏内人口（53,166人）÷ 医療施設徒歩圏面積（3,280ha） = **16人/ha**

※1：各施設の徒歩圏 800m の区域内に居住する人口の総人口に占める比率

※2：各施設の徒歩圏 800m の区域内における平均人口密度

■高齢者福祉施設の徒歩圏（2010年（平成22年））



資料：袋井市内介護サービス事業一覧（2016年（平成28年）12月）

【福祉施設の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

福祉施設の徒歩圏内人口（60,328人）÷ 総人口（84,846人） = 71%

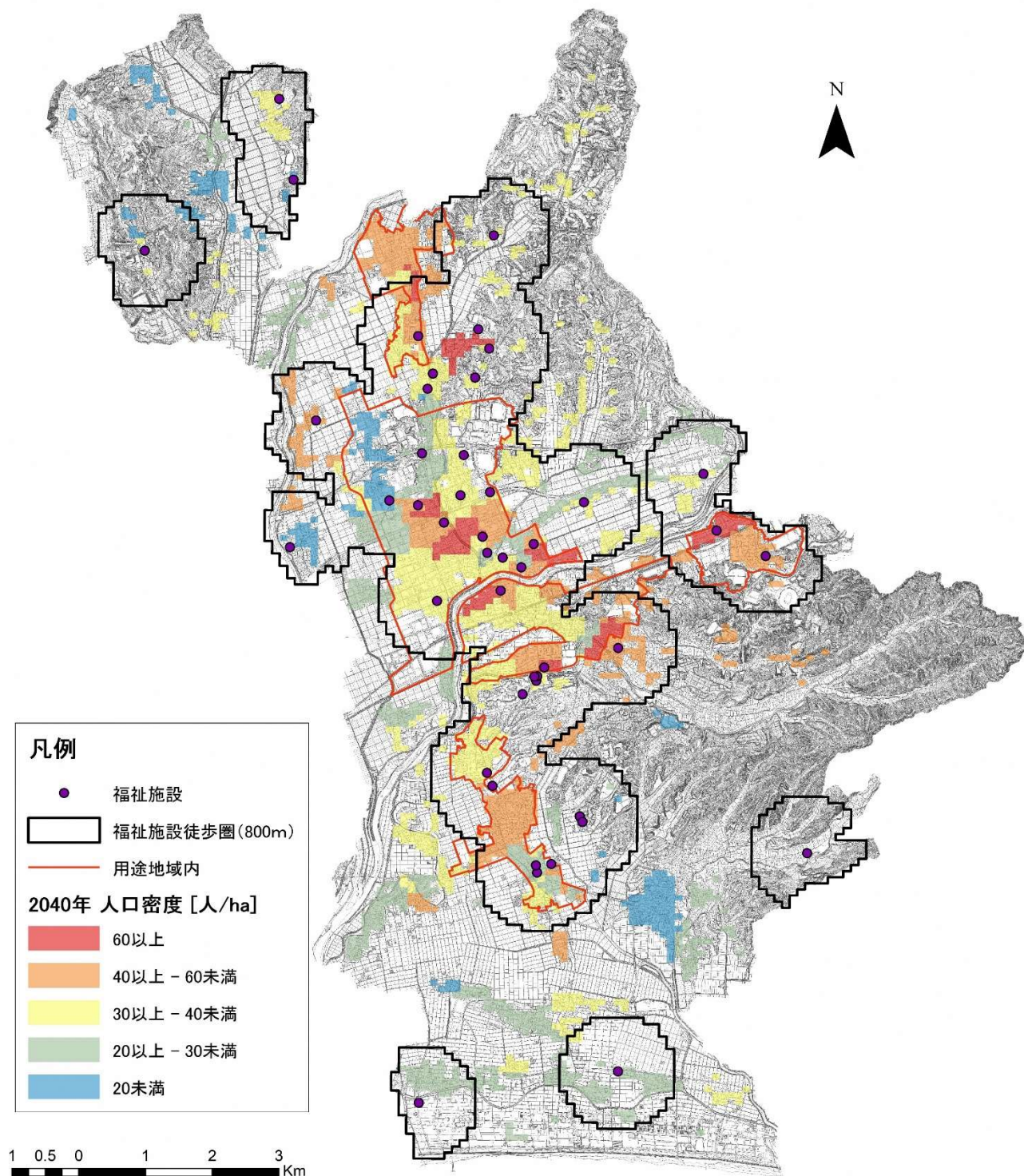
【福祉施設の徒歩圏の人口密度※2の算出】

福祉施設徒歩圏内人口（60,328人）÷ 福祉施設徒歩圏面積（4,827ha） = 12人/ha

※1：各施設の徒歩圏 800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

※2：各施設の徒歩圏 800mの区域内における平均人口密度

■高齢者福祉施設の徒歩圏（2040年）



資料：袋井市内介護サービス事業一覧（2016年（平成28年）12月）

【福祉施設の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

福祉施設の徒歩圏内人口（58,971人）÷総人口（81,491人）＝72%

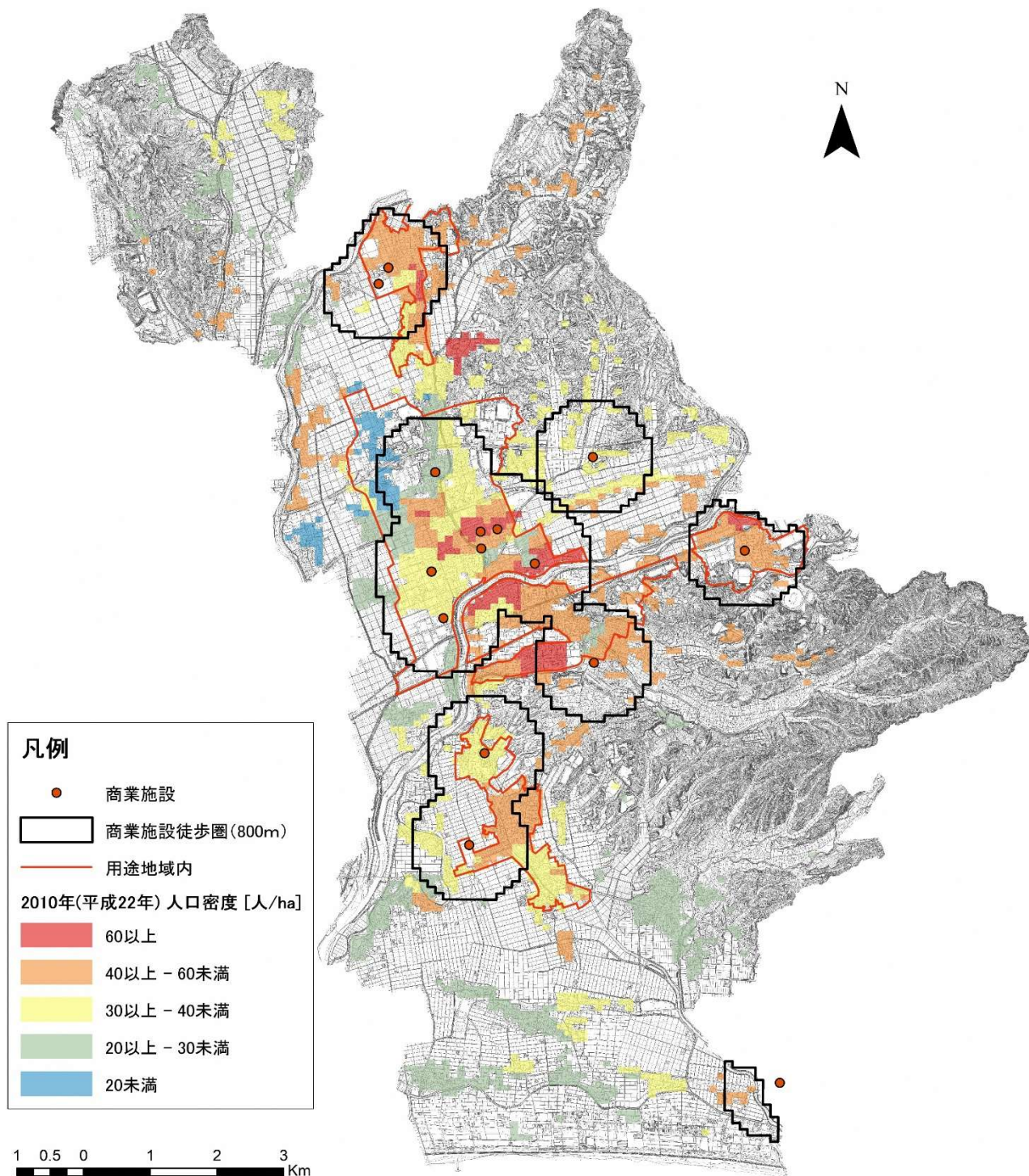
【福祉施設の徒歩圏の人口密度※2の算出】

福祉施設徒歩圏内人口（58,971人）÷福祉施設徒歩圏面積（4,827ha）＝12人/ha

※1：各施設の徒歩圏 800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

※2：各施設の徒歩圏 800mの区域内における平均人口密度

■商業施設（スーパーマーケット等）の徒歩圏（2010年（平成22年））



資料：iタウンページ（2017年（平成29年）11月）

【商業施設の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

商業施設の徒歩圏内人口（44,018人）÷ 総人口（84,846人） = 52%

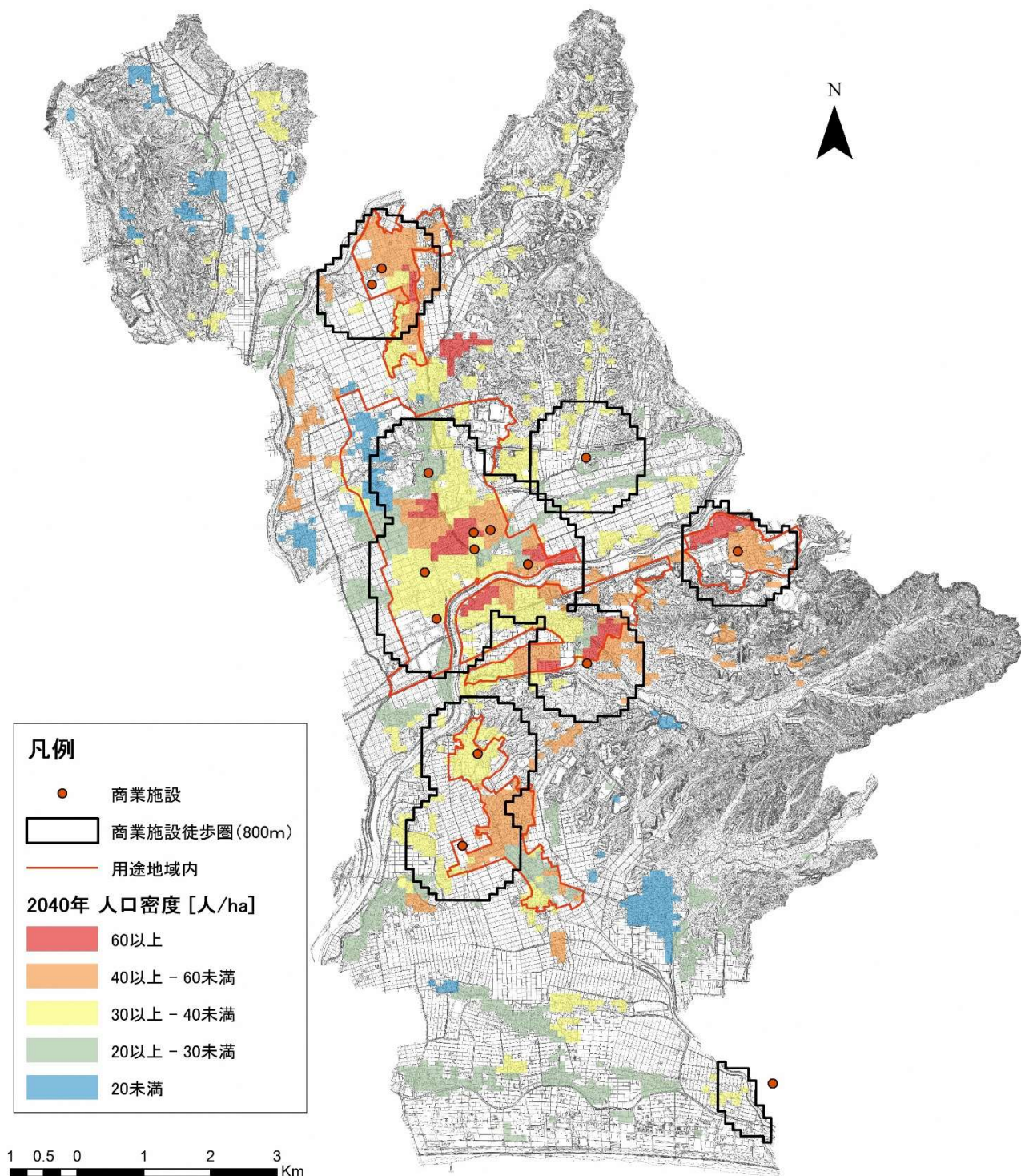
【商業施設の徒歩圏の人口密度※2の算出】

商業施設徒歩圏内人口（44,018人）÷ 商業施設徒歩圏面積（2,300ha） = 19人/ha

※1：各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

※2：各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度

■商業施設（スーパーマーケット等）の徒歩圏（2040年）



資料：iタウンページ（2017年（平成29年）11月）

【商業施設の徒歩圏人口カバー率※1の算出】

商業施設の徒歩圏内人口（43,458人）÷ 総人口（81,491人） = 53%

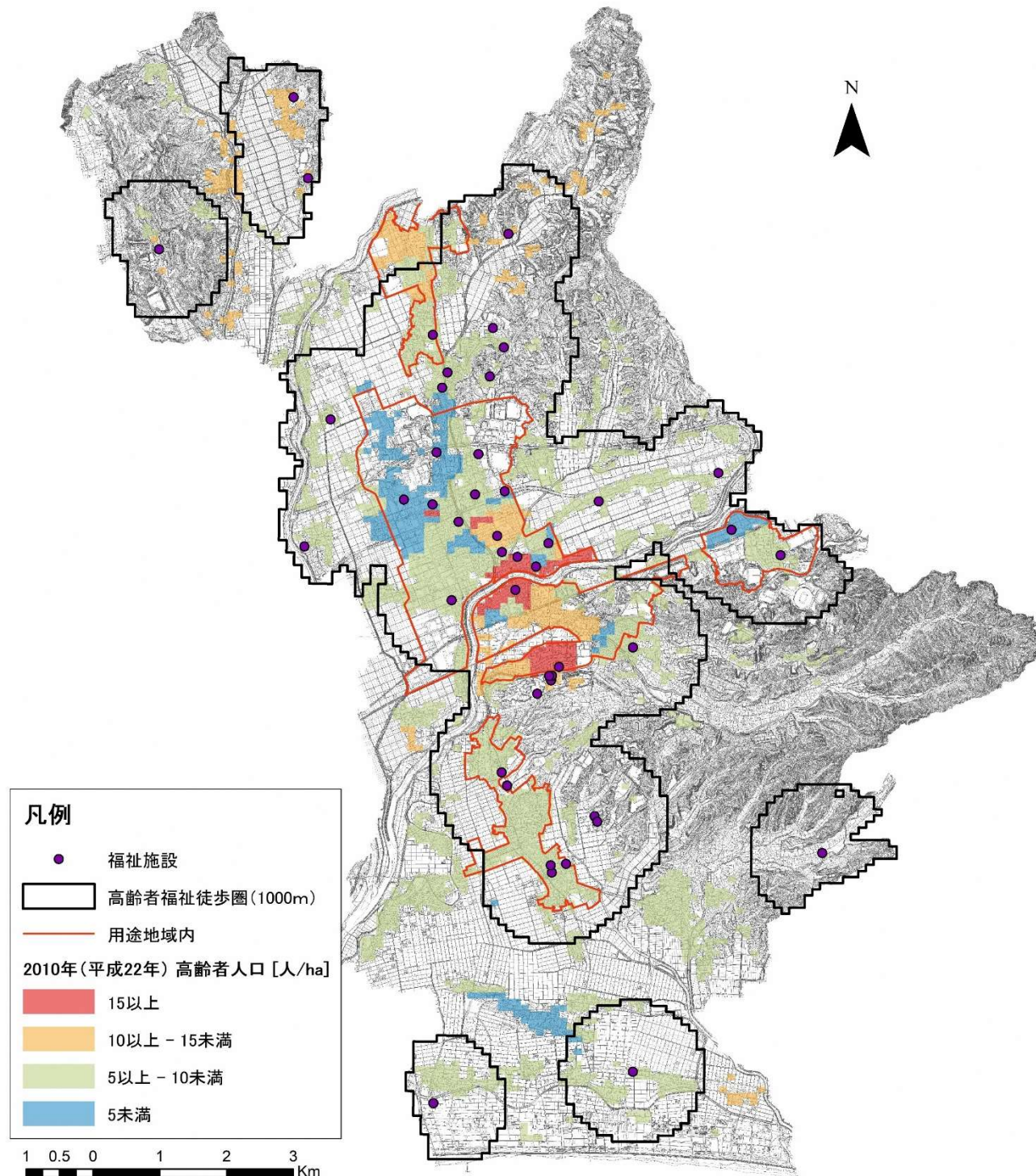
【商業施設の徒歩圏の人口密度※2の算出】

商業施設徒歩圏内人口（44,018人）÷ 商業施設徒歩圏面積（2,300ha） = 19人/ha

※1：各施設の徒歩圏 800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

※2：各施設の徒歩圏 800mの区域内における平均人口密度

■高齢者福祉施設の1km圏域高齢者人口（2010年（平成22年））



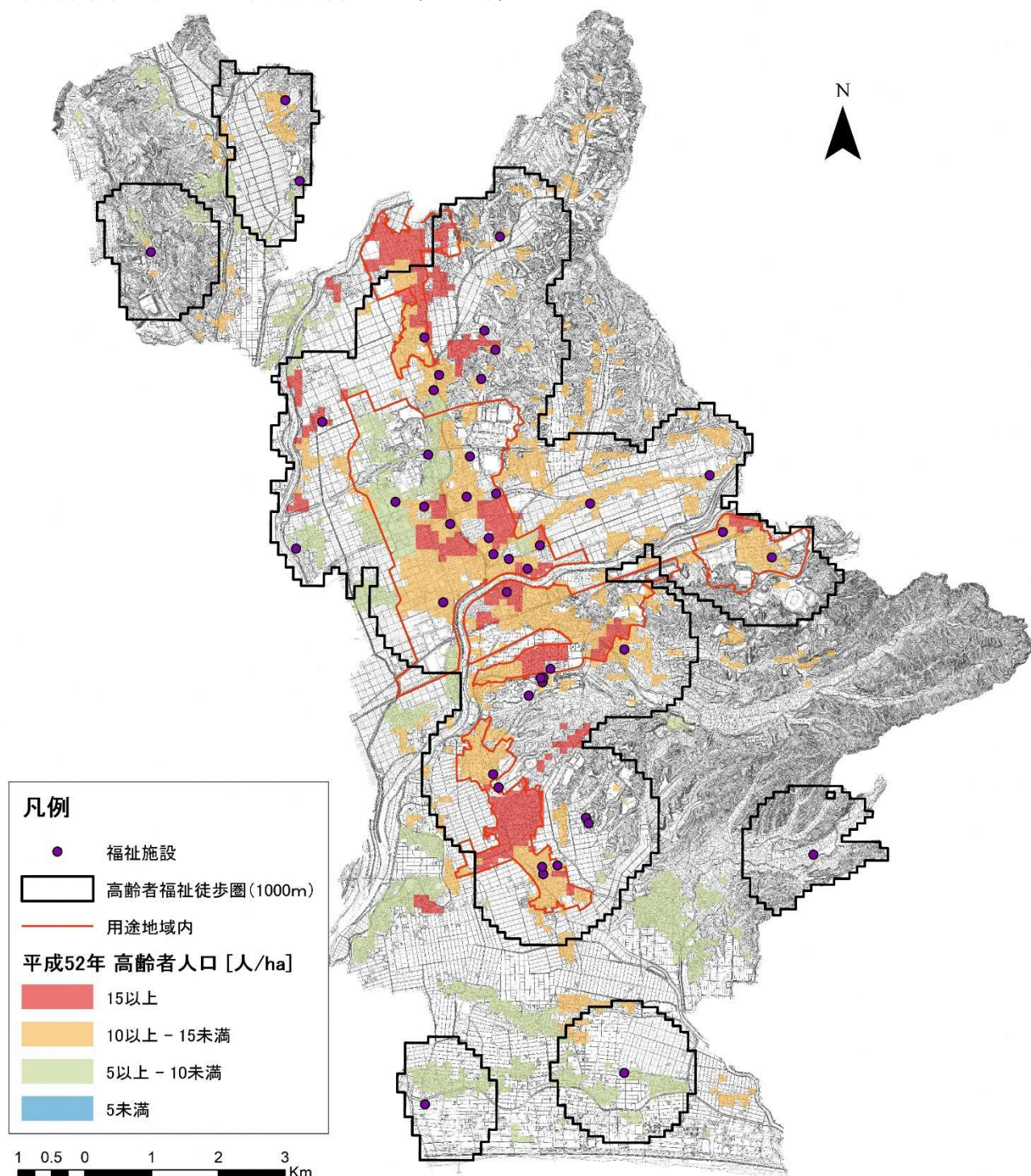
資料：袋井市内介護サービス事業一覧（2016年（平成28年）12月）

【高齢者福祉施設の1km圏域高齢者人口カバー率の算出】

$$\text{高齢者福祉施設の1km圏域高齢者人口 (11,649人)} \div \text{高齢者人口 (16,277人)} = 72\%$$

※1：高齢者福祉施設の半径1km圏域に居住する高齢者人口の総高齢者人口に占める比率

■高齢者福祉施設の1km圏域高齢者人口（2040年）



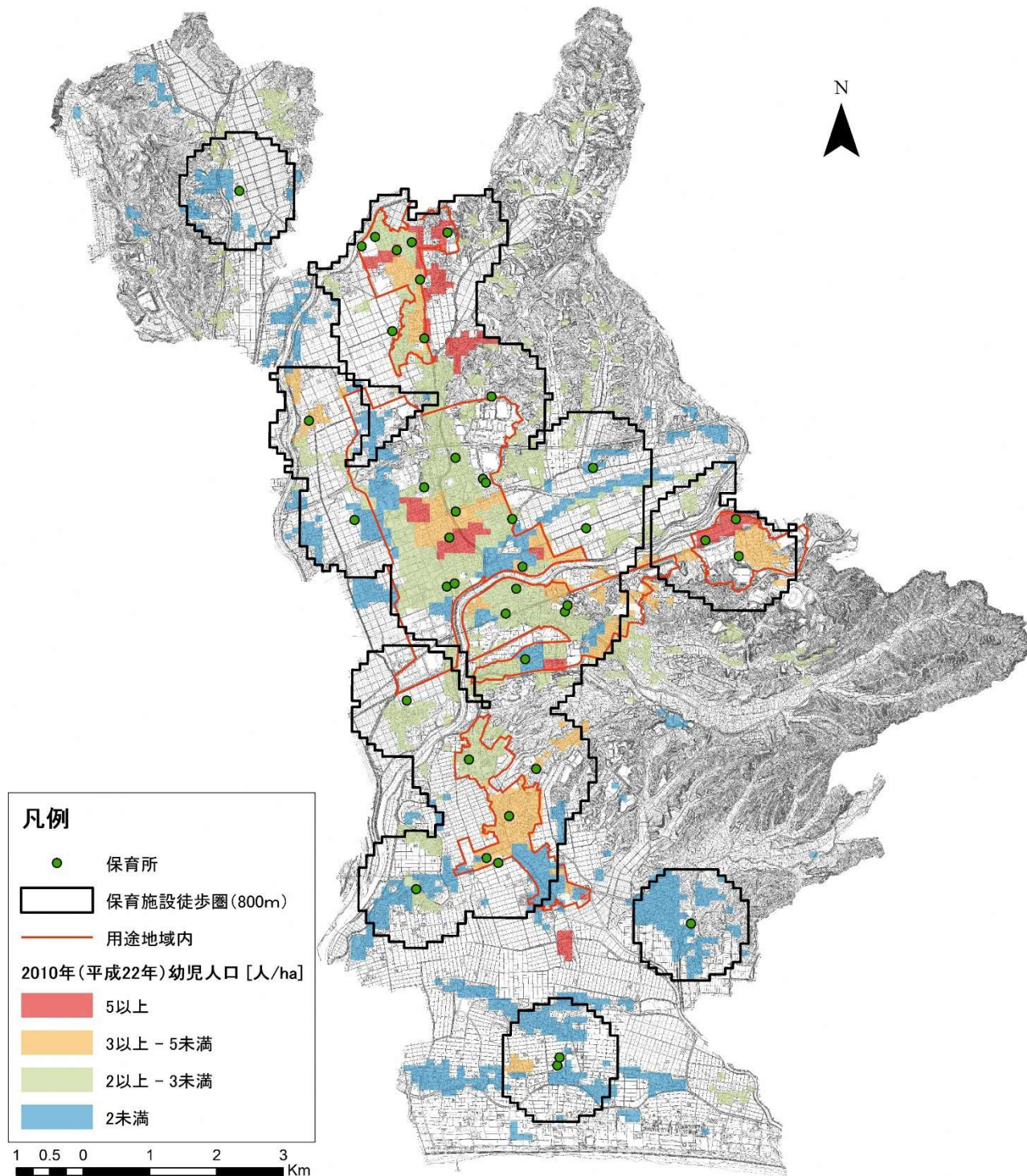
資料：袋井市内介護サービス事業一覧（2016年（平成28年）12月）

【高齢者福祉施設の1km圏域高齢者人口カバー率の算出】

$$\text{高齢者福祉施設の1km圏域高齢者人口 (19,844人)} \div \text{高齢者人口 (25,932人)} = 77\%$$

※1：高齢者福祉施設の半径1km圏域に居住する高齢者人口の総高齢者人口に占める比率

■保育所（幼稚園を含む）の徒歩圏（2010年（平成22年））



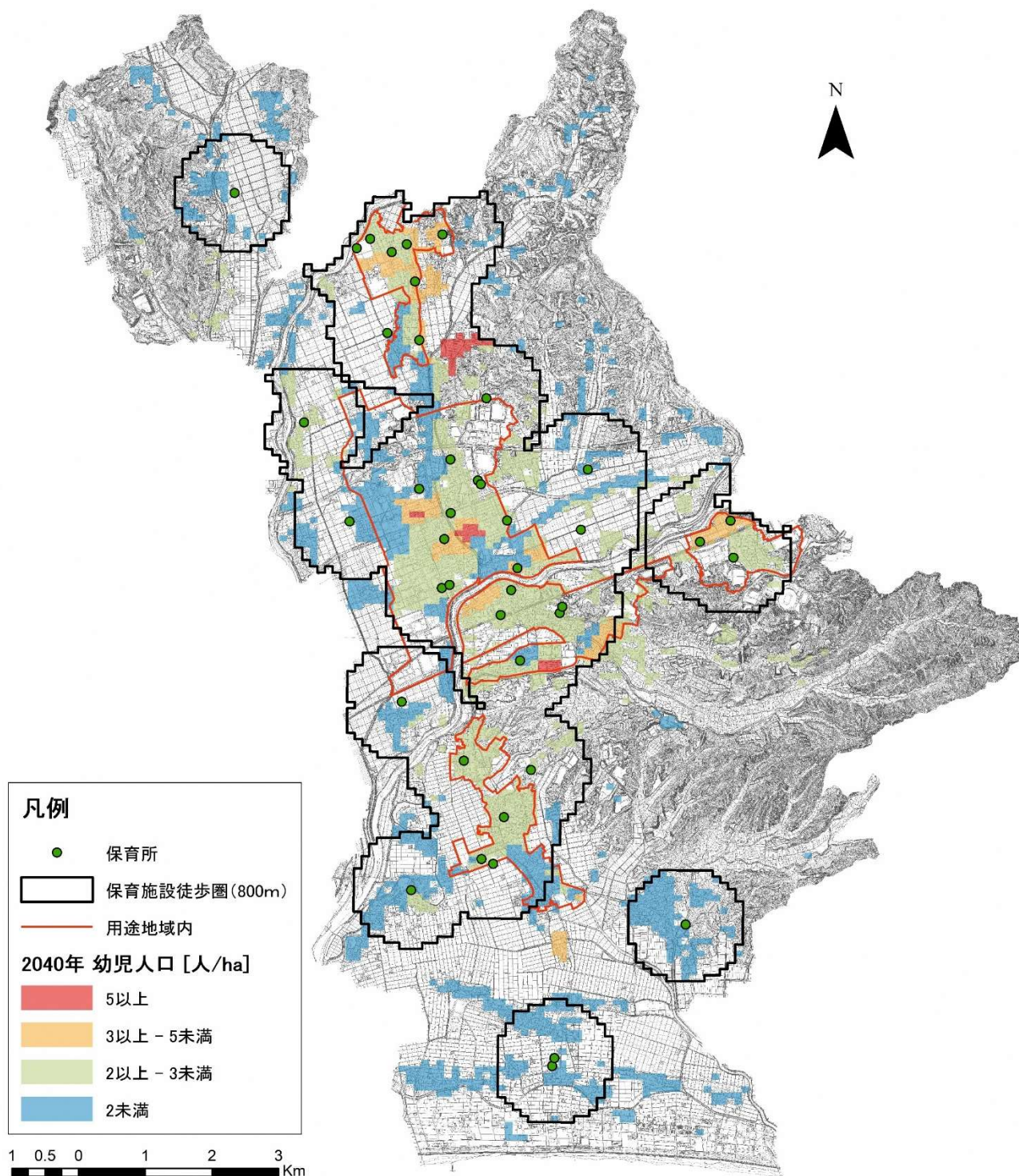
資料：袋井市公共施設白書、袋井市ホームページ（2017年（平成29年）4月）

【保育所の徒歩圏0～5歳人口カバー率の算出】

保育所の徒歩圏内0～5歳人口（4,444人）÷0～5歳人口（5,470人）= 81%

※1：保育所の半径800m圏域に居住する0～5歳人口の0～5歳総人口に占める比率

■保育所（幼稚園を含む）の徒歩圏（2040年）



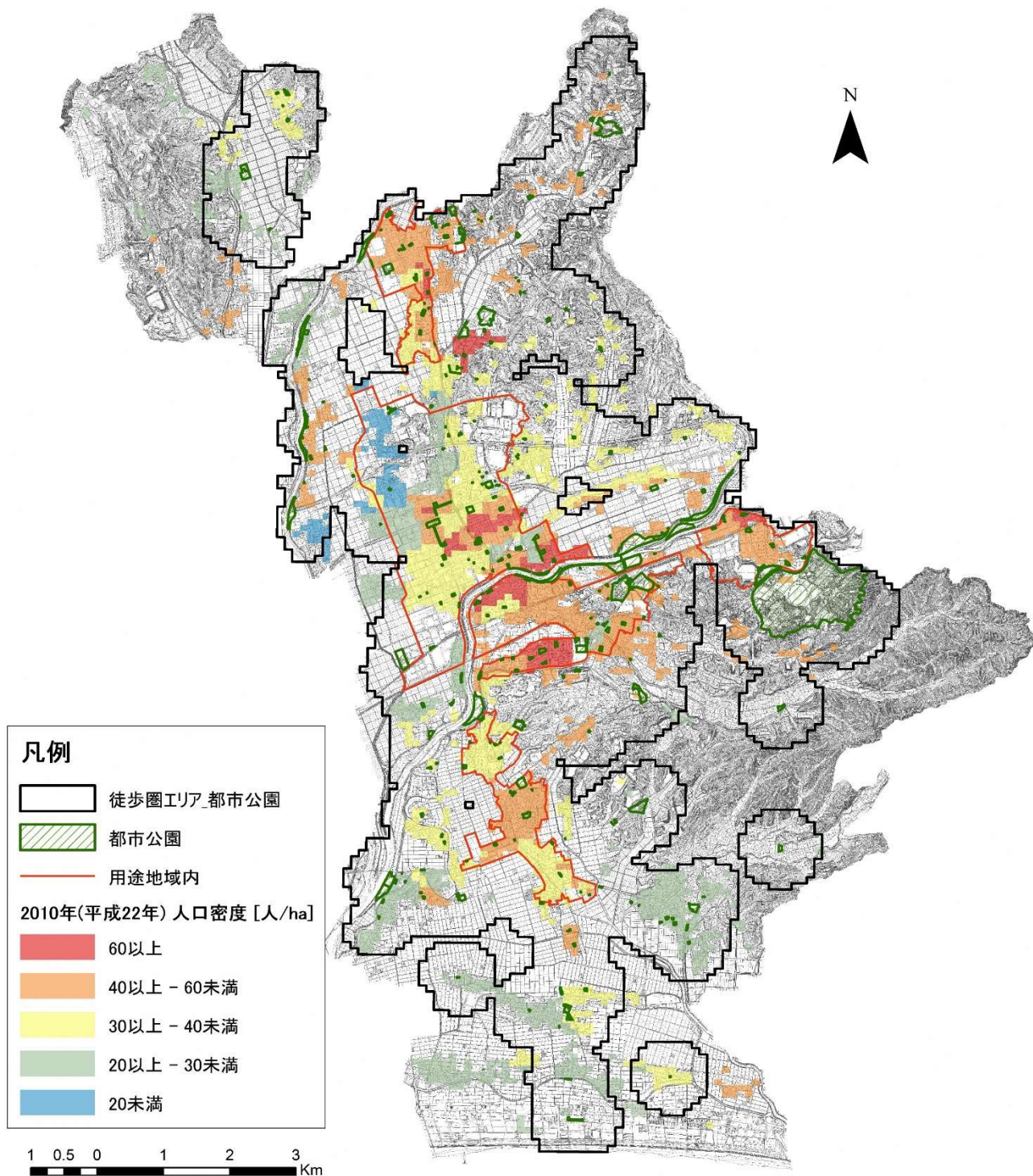
資料：袋井市公共施設白書、袋井市ホームページ（2017年（平成29年）4月）

【保育所の徒歩圏0～5歳人口カバー率の算出】

保育所の徒歩圏内0～5歳人口（3,327人）÷0～5歳人口（4,170人）＝ 80%

※1：保育所の半径800m圏域に居住する0～5歳人口の0～5歳総人口に占める比率

■公園緑地の徒歩圏（2010年（平成22年））



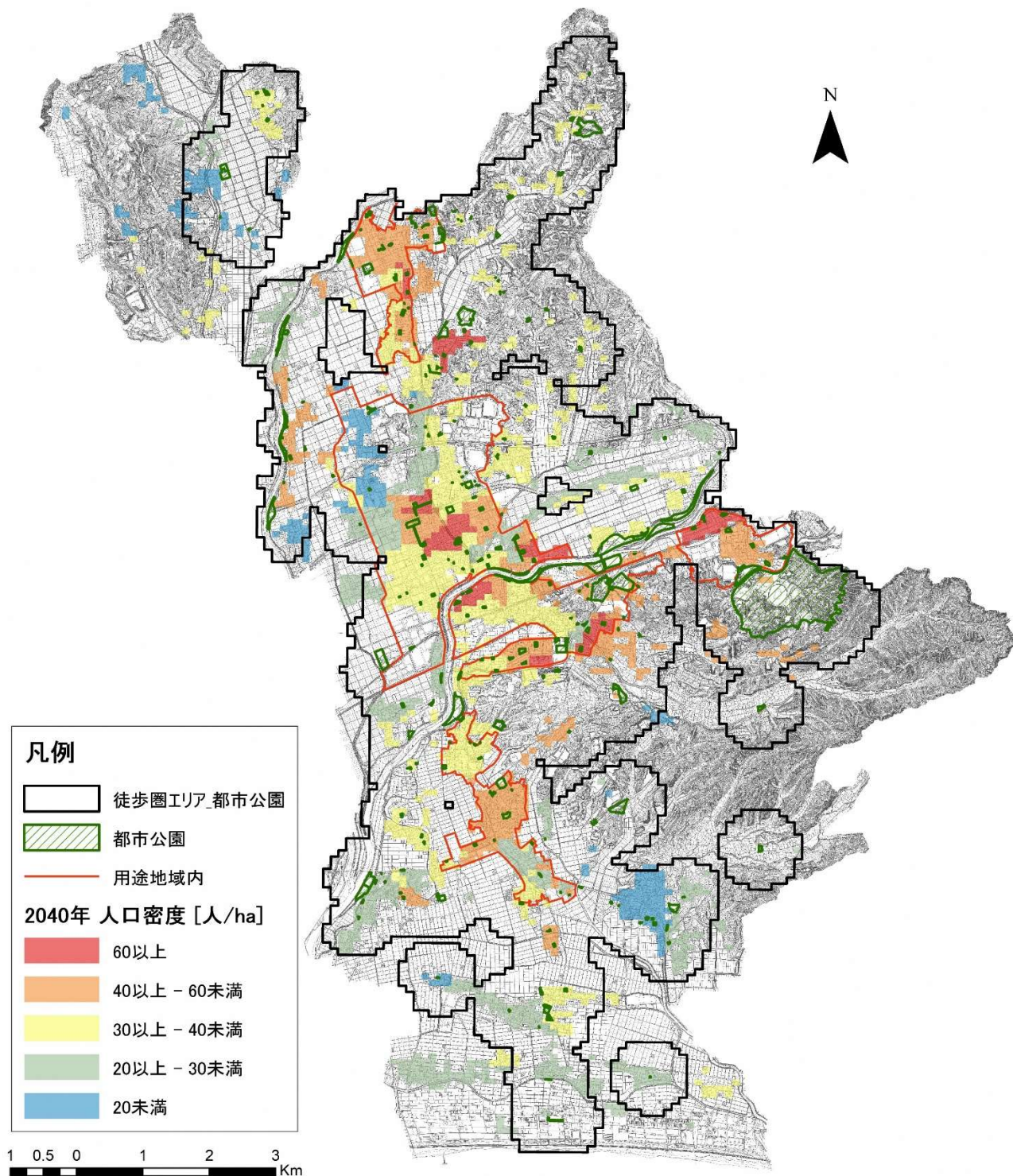
資料：袋井市資料

【公園緑地の徒歩圏人口カバー率の算出】

公園緑地の徒歩圏人口（78,993人）÷ 総人口（84,846人） = 93%

※1：公園緑地の半径 800m 圏域に居住する人口の総人口に占める比率

■公園緑地の徒歩圏（2040年）



資料：袋井市資料

【公園緑地の徒歩圏人口カバー率の算出】

公園緑地の徒歩圏人口 (76,347人) ÷ 総人口 (81,491人) = 94%

※1：公園緑地の半径 800m 圏域に居住する人口の総人口に占める比率

